

調達物品の備えるべき技術的要件

(性能, 機能に関する要件)

- 1 全自動核酸抽出増幅検査システム
全自動核酸抽出増幅検査システムは、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 核酸の抽出、増幅、検出工程のすべてを全自動で行うこと。
 - 1-2 核酸増幅検出はリアルタイム PCR 法であること。
 - 1-3 Ct 値を表示できること。
 - 1-4 測定結果の解析方法は、定性解析(陽性・陰性)、定量解析(検量線使用)、融解曲線解析が可能であること。
 - 1-5 1回の検体架設数は 20 検体以上を同時に測定可能であること。
 - 1-6 機器が測定開始前に試薬装填の不備などを自動的に確認するシステムを備えていること。
 - 1-7 タッチスクリーン画面で機器操作ができること。
 - 1-8 SARS-CoV-2 検出において、検体毎に内部コントロールが備わっていること。
 - 1-9 SARS-CoV-2 検出以外にも複数のウイルス/細菌等を検出する試薬が市販されていること。
 - 1-10 分析装置本体の 1 台あたりのサイズは、幅 95cm 以下、奥行き 76cm 以下、高さ 95cm 以下の省スペース設計であること

(性能、機能以外に関する要件)

- 2 設置条件等については、以下の要件を満たすこと。
 - 2-1 沖縄県立八重山病院の指定場所に設置(納入)すること。
- 3 搬入、据付及び調整等については、以下の要件を満たすこと。
 - 3-1 機器の搬入、据付及び調整等については、本院の診療業務に支障をきたさないよう協議の上行うこと。
 - 3-2 搬入、据付に際しては、建物及び製品の損傷に十分留意し、損傷を与えた場合は速やかに現状に復すること。
 - 3-3 納期及び設置期間等のスケジュールを本院担当職員と事前に打合せし、そのスケジュールに従い完了すること。
 - 3-4 その他、上記に記載がない事項については、本院職員と打合わせ、その指示に従うこと。